

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

（薬品名）	サフネロ一点滴静注 300mg 生物・劇
（英名）	Anifrolumab(GeneticalRecombination)
（規格・含有量）	1 バイアル(2.0mL) 中アニフロルマブ(遺伝子組換え)300mg 含有
（一般名）	アニフロルマブ(遺伝子組換え)
（メーカー名）	アストラゼネカ
【薬価収載日】	2021年11月
【薬価】	1 バイアル 96,068 円
【薬効コード】	3999
【薬効分類名】	ヒト抗I型インターフェロン受容体1モノクローナル抗体
効能・効果	既存治療で効果不十分な全身性エリテマトーデス
用法・用量	通常、成人にはアニフロルマブ(遺伝子組換え)として、300mgを4週間ごとに30分以上かけて点滴静注する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 重篤な感染症の患者[症状を悪化させるおそれがある。] 活動性結核の患者[症状を悪化させるおそれがある。]
相互作用	両剤の作用減弱のおそれ I型インターフェロン製剤(インターフェロン- α 、インターフェロン- β)
副作用	重大な副作用 アナフィラキシー、重篤な感染症 その他 上気道感染(上気道感染、上咽頭炎、咽頭炎)、注入に伴う反応

(薬品名)	アロカリス点滴静注 235mg 劇 市販直後調査 2022年5月~2022年11月
(英名)	Fosnetupitant Chloride Hydrochloride
(規格・含有量)	1バイアル(10mL)中ホスネツピタント塩化物塩酸塩 260mg(ホスネツピタントとして 235mg)含有
(一般名)	ホスネツピタント塩化物塩酸塩
(メーカー名)	大鵬薬品
【薬価収載日】	2022年5月
【薬価】	1バイアル 11,276円
【薬効コード】	2391
【薬効分類名】	選択的 NK ₁ 受容体拮抗型制吐剤
効能・効果	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)
用法・用量	他の制吐剤との併用において、通常、成人にはホスネツピタントとして 235mg を抗悪性腫瘍剤投与 1 日目に 1 回、点滴静注する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 妊婦又は妊娠している可能性のある女性
相互作用	本剤の作用増強のおそれ CYP3A を阻害する薬剤(ケトコナゾール、クラリスロマイシン、フルコナゾール、イトラコナゾール等)、 本剤の作用減弱のおそれ CYP3A を誘導する薬剤(リファンピシン、フェニトイン等) 他剤の作用増強のおそれ CYP3A で代謝される薬剤(デキサメタゾン、ドセタキセル、シクロホスファミド、エトポシド、ピモジド、ミダゾラム、エリスロマイシン、経口避妊剤(エチニルエストラジオール・レボノルゲステレル)等
副作用	重大な副作用 ショック、アナフィラキシー

(薬品名)	コンファクトF 静注用 500 単位 特生物
(規格・含有量)	1 バイアル中血液凝固第 VIII 因子(FVIII:C として) 500 国際単位、 von Willebrand 因子(RCof として) 1200 国際単位含有
(一般名)	血液凝固第 VIII 因子、 von Willebrand 因子
(メーカー名)	日本血液製剤機構
【薬価収載日】	2022 年 6 月
【薬価】	1 バイアル 34,938 円
【薬効コード】	6343
【薬効分類名】	乾燥濃縮人血液凝固第 VIII 因子
効能・効果	血液凝固第 VIII 因子欠乏患者に対し、血漿中の血液凝固第 VIII 因子を補い、その出血傾向を抑制する。 von Willebrand 病患者に対し、血漿中の von Willebrand 因子を補い、その出血傾向を抑制する。
用法・用量	<p>〈効能共通〉</p> <p>本剤 250 国際単位あたり添付の溶剤(日局注射用水)5mL で溶解し、緩徐に静脈内に注射又は点滴注入する。なお、1 分間に 5mL を超える注射速度は避けること。</p> <p>〈血友病 A〉</p> <p>通常 1 回に血液凝固第 VIII 因子活性(FVIII:C)で 250～2,000 国際単位を投与するが、年齢、症状に応じて適宜増減する。</p> <p>〈von Willebrand 病〉</p> <p>通常 1 回にリストセチンコファクター活性(RCof)で 750～6,000 国際単位を投与するが、年齢、症状に応じて適宜増減する。</p>
禁忌	記載なし
相互作用	記載なし
副作用	重大な副作用 ショック、アナフィラキシー

(薬品名)	タブネオスカプセル 10mg	市販直後調査 2022年6月～2022年12月
(英名)	Avacopan	
(規格・含有量)	1カプセル中アバコパン 10mg 含有	
(一般名)	アバコパン	
(メーカー名)	キッセイ薬品	
【薬価収載日】	2022年5月	
【薬価】	1カプセル 1,403.90円	
【薬効コード】	3999	
【薬効分類名】	選択的 C5a 受容体拮抗薬	
効能・効果	顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症	
用法・用量	通常、成人にはアバコパンとして1回 30 mg を1日2回朝夕食後に経口投与する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤の作用減弱のおそれ 強い又は中程度の CYP3A4 誘導剤(カルバマゼピン、フェニトイン、リファンピシン等)、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート) 本剤の血漿中濃度増加のおそれ 強い CYP3A4 阻害剤(イトラコナゾール、クラリスロマイシン、リトナビル等)、グレープフルーツジュース 必要に応じて血漿中濃度をモニタリングするもの シクロスポリン、シロリムス、タクロリムス等	
副作用	重大な副作用 肝機能障害、重篤な感染症	

(薬品名)	カログラ錠 120mg	劇	市販直後調査 2022年5月～2022年11月
(英名)	Carotegrast Methyl		
(規格・含有量)	1錠中カロテグラストメチル 120mg 含有		
(一般名)	カロテグラストメチル		
(メーカー名)	キッセイ薬品		
【薬価収載日】	2022年5月		
【薬価】	1錠 200.00円		
【薬効コード】	2399		
【薬効分類名】	潰瘍性大腸炎治療剤/ α 4 インテグリン阻害剤		
効能・効果	中等症の潰瘍性大腸炎(5-アミノサリチル酸製剤による治療で効果不十分な場合に限る)		
用法・用量	通常、成人にはカロテグラストメチルとして1回 960 mg を1日3回食後経口投与する。		
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 妊婦又は妊娠している可能性のある女性 重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)を有する患者		
相互作用	本剤の作用増強のおそれ OATP1B1 及び OATP1B3 を阻害する薬剤(リファンピシン等) 他剤の作用増強のおそれ CYP3A4 の基質となる薬剤(ミダゾラム、アトルバスタチン等)		
副作用	重大な副作用 進行性多巣性白質脳症(PML)		

【薬品名】	ハビースモ硝子体内注射液 120mg/mL 生物・劇 市販直後調査 2022 年 5 月～2022 年 11 月
【英名】	Faricimab (Genetical Recombination)
【規格・含有量】	1 バイアル(0.24mL)中ファリシマブ(遺伝子組換え)28.8mg 含有
【一般名】	ファリシマブ(遺伝子組換え)
【メーカー名】	中外製薬
【薬価収載日】	2022 年 5 月
【薬価】	1 バイアル 163,894 円
【薬効コード】	1319
【薬効分類名】	眼科用 VEGF/Ang-2 阻害剤 抗 VEGF/抗 Ang-2 ヒト化二重特異性モノクローナル抗体
【効能・効果】	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫
【用法・用量】	<p>〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉</p> <p>ファリシマブ(遺伝子組換え)として 6.0mg(0.05mL)を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 4 回(導入期)硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。</p> <p>〈糖尿病黄斑浮腫〉</p> <p>ファリシマブ(遺伝子組換え)として 6.0mg(0.05mL)を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 4 回硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後は、投与間隔を徐々に延長し、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、4 週以上あけること。</p>
【禁忌】	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>眼又は眼周囲に感染のある患者、あるいは感染の疑いのある患者[眼内炎等の重篤な副作用が発現するおそれがある。]</p> <p>眼内に重度の炎症のある患者[炎症が悪化するおそれがある。]</p>
【相互作用】	記載なし
【副作用】	重大な副作用 眼障害、脳卒中

削除医薬品通知

コンファクト F 注射用 500

9/1 削除

後発医薬品採用通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>9月1日より</u> フェブキソスタット錠 10mg「DSEP」 フェブキソスタット錠 20mg「DSEP」 ラタノプロスト点眼液 0.005%「SEC」	<p>フェブリック錠 10mg フェブリック錠 20mg キサラタン点眼液 0.005%</p>

剤型変更医薬品通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>9月1日より</u> ゼジューラ錠 100mg	<p>ゼジューラカプセル 100mg</p>

販売名変更医薬品通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none">● <u>在庫消尽後</u> ロペラミド塩酸塩カプセル 1mg「NIG」	<p>ロペラミド塩酸塩カプセル 1mg「タイヨー」</p>

医薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>在庫消尽後</u> セフオン静注用 1g セファゾリンナトリウム注射用 0.25g「日医工」 セファゾリンナトリウム注射用 1g「日医工」 	<ul style="list-style-type: none"> セフォセフ静注用 1g セファゾリン Na 静注用 0.25g「NP」 セファゾリン Na 静注用 1g「NP」

医薬品供給再開通知

ペリンドプリルエルブミン錠 4mg「トーワ」	9/1 より再開
------------------------	----------

適応追加通知

オノアクト点滴静注用 50mg	<p>【効能・効果】</p> <p>〈成人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術時の下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置：心房細動、心房粗動、洞性頻脈 ・手術後の循環動態監視下における下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置：心房細動、心房粗動、洞性頻脈 ・心機能低下例における下記の頻脈性不整脈：心房細動、心房粗動 ・生命に危険のある下記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合：心室細動、血行動態不安定な心室頻拍 ・敗血症に伴う下記の頻脈性不整脈：心房細動、心房粗動、洞性頻脈 <p>〈小児〉</p> <p style="color: red;">心機能低下例における下記の頻脈性不整脈：上室頻拍、心房細動、心房粗動</p> <p>【用法・用量】</p> <p style="color: red;">〈成人及び小児の心機能低下例における頻脈性不整脈〉</p> <p style="color: red;">ランジオロール塩酸塩として、1 μg/kg/min の速度で静脈内持続投与を開始する。投与中は心拍数、血圧を測定し 1～10 μg/kg/min の用量で適宜調節する。</p> <p>〈他〉省略</p>
--------------------	---

<p>レミフェンタニル静注用 2mg「第一三共」</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人：全身麻酔の導入及び維持における鎮痛 ・小児：全身麻酔の維持における鎮痛 ・集中治療における人工呼吸中の鎮痛 <p>【用法・用量】</p> <p>〈集中治療における人工呼吸中の鎮痛〉</p> <p>通常、成人には、レミフェンタニルとして 0.025μg/kg/分の速さで持続静脈内投与を開始し、患者の全身状態を観察しながら、適切な鎮痛が得られるよう、投与速度を適宜調節する。投与速度の調節は 5 分以上の間隔で、0.1μg/kg/分までは最大 0.025μg/kg/分ずつ加速又は減速させ、0.1μg/kg/分を超える場合は 25～50% の範囲で加速又は最大 25% の範囲で減速させるが、投与速度の上限 0.5μg/kg/分とする。投与終了時は、10 分以上の間隔で、最大 25% ずつ減速させ 0.025 μg/kg/分を目安として投与終了する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>ゴナトロピン注用 5000 単位</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無排卵症（無月経、無排卵周期症、不妊症） ・機能性子宮出血 ・黄体機能不全症又は生殖補助医療における黄体補充 ・停留睾丸 ・造精機能不全による男子不妊症 ・下垂体性男子性腺機能不全症（類宦官症） ・思春期遅発症 ・睾丸・卵巢の機能検査 ・妊娠初期の切迫流産 ・妊娠初期に繰り返される習慣性流産 ・低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症における精子形成の誘導 ・生殖補助医療における卵胞成熟及び黄体化 ・一般不妊治療（体内での受精を目的とした不妊治療）における排卵誘発及び黄体化 <p>【用法・用量】</p> <p>〈生殖補助医療における卵胞成熟及び黄体化、一般不妊治療（体内での受精を目的とした不妊治療）における排卵誘発及び黄体化〉</p> <p>通常、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモンとして、5,000 単位を単回筋肉内注射又は皮下注射するが、患者の状態に応じて投与量を 10,000 単位とすることができる。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>タグリッソ錠 40mg 80mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EGFR 遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌 ・EGFR 遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法

	<p>【用法・用量】 通常、成人にはオシメルチニブとして 80mg を 1 日 1 回経口投与する。 ただし、術後補助療法の場合は、投与期間は 36 カ月間までとする。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>
<p>キイトルーダ点滴静注 100mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪性黒色腫 ・切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ・再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 ・がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌 ・がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する固形癌 (標準的な治療 が困難な場合に限る) ・根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ・腎細胞癌における術後補助療法 ・再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 ・根治切除不能な進行・再発の食道癌 ・治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌 ・PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌 ・がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌 ・がん化学療法後に増悪した高い腫瘍遺伝子変異量 (TMBHigh) を有する進行・再発の固形癌 (標準的な治療が困難な場合に限る) <p>【用法・用量】 <腎細胞癌における術後補助療法> 通常、成人には、ペムブロリズマブ (遺伝子組換え) として、1 回 200mg を 3 週間間隔又は 1 回 400mg を 6 週間間隔で 30 分間かけて点滴静注する。投与期間は 12 カ月間までとする。</p> <p><他>省略</p>
<p>エプクルーサ配合錠</p>	<p>【効能・効果】 C 型慢性肝炎、C 型代償性肝硬変又は C 型非代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>【用法・用量】 <未治療又は前治療歴のない C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善> <C 型非代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善> 通常、成人には、1 日 1 回 1 錠 (ソホスブビルとして 400mg 及びベルパタスビルとして 100mg) を 12 週間経口投与する。</p> <p><他>省略</p>